「自治会ブロック対抗スポーツ大会」

岡川　さえ子（拝一小地区・3期目）

2月7日、「自治会ブロック対抗インドアペタンク大会」が昭島市総合スポーツセンターで開催されました。元気いっぱいの市民の皆さんが大きなあいさつとともに、次々と集まってきました。

開会式が始まり、スポーツ推進委員によるデモンストレーションを行った後、昭島体操や数分間の練習を行い、いよいよ試合開始です。

以前の大会では自信なさげにボールを投げる姿が見受けられましたが、回を重ねるごとに、こちらから声をかけなくてもチームごとに率先して「練習していいですか」と、逆に声をかけられるようになってきました。今回から、時間内でも3メーヌまでというルールが追加され、勝ち負けを意識しながらも、各ブロック同士の親睦を深めつつ、楽しい雰囲気で試合が進んでいきました。

練習同様、試合中も以前のような細かい説明は必要なく、目視ではどちらが近いか判断できない場合の距離の測定や、何番から投げるという投球位置の確認など、スポーツ推進委員は必要最低限の説明とボール拾いが主な役目となり、市民の皆さんに「インドアペタンク」という競技が浸透してきたことを改めて実感しました。

今回の優勝は第19ブロック、準優勝は第17ブロック、第3位は第11ブロックでした。

来年は、さらにワンランクアップした市民の皆さんと「インドアペタンク」を一緒にできることを楽しみにしています。

「親子ふれあいスポーツデー」

小島　烈（光華小地区・1期目）

素晴らしい秋晴れの11月28日(土)、「集まれ！チャレンジャー」のスローガンの下、拝島第三小学校で親子ふれあいスポーツデーが開催されました。

6月の田中小学校、9月の共成小学校に続き、今年度3校目の開催です。校庭では、グラウンドゴルフ協会、レクリエーション研究会の方々が、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、輪投げ等を担当し、親子でスポーツを楽しんだ後、体育館へ移動して新体力テストのスタートです。文部科学省の指導の下、昭和39年から国民の体力や運動能力調査を目的として行われています。

私たちスポーツ推進委員は、6～11歳の小学生と家族全員の体力テストを担当しました。内容は①握力②長座体前屈③上体起こし④立ち幅跳び⑤反復横跳び⑥20mシャトルランの6項目で、それぞれ、体の硬い子と柔らかい子、低学年と高学年の差、上手、下手など、いろいろ見受けられました。

苦手のものでも、歯をくいしばってなんとか記録を伸ばそうとしたり、お父さんやお母さんの記録を超えて、得意満面の笑みを浮かべるなど、とてもほほ笑ましく感じられました。

核家族社会といわれて久しい昨今、休日のひとときをこうして親子で健康的な汗を流すことは極めて重要だと思います。また、スポーツ・レクリエーションをもっと身近に楽しんでいただきたいとも思います。ちなみに、この日の参加者は子ども68人、大人24人の合計92人でした。